



2026年2月10日

各 位

会社名 株式会社アトム
代表者名 代表取締役社長 植田 剛史
(コード番号 7412 東証スタンダード、名証メイン)
問合せ先 取締役管理本部長 佐藤 真一郎
(連絡先電話番号 045-224-7390)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年5月9日公表の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想を修正することとしましたので、お知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正について

2026年3月期通期業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 32,481	百万円 933	百万円 870	百万円 3	円 錢 △0.15
今回修正予想 (B)	30,090	△367	△429	△1,209	△6.32
増減額 (B - A)	△2,390	△1,300	△1,300	△1,212	
増減率 (%)	△7.4	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	35,477	△670	△643	530	2.58

2. 修正の理由

当社は当期において、商品構成の見直し、既存店の改裝、本部費用の適正化など、収益性の改善に向けた各種施策を継続して実施してまいりました。一方で、原材料価格の高止まり、人件費の上昇、エネルギーコストの増加等に伴うコスト負担の増加に加え、消費者の節約志向・選別志向が強まる中、来客数及び売上高の回復は当初想定よりも遅れています。

こうした事業環境に対応するため、当社では来店動機及び利用満足度の向上を目的とした価格帯の再整備、新商品の投入、季節性を踏まえた商品強化、ブランド認知向上等の施策を各業態において実施しております。また、新規業態の展開にあたっては、地域特性を踏まえた価値提供を通じた新規顧客層の獲得に加え、既存業態との連携や利用機会の拡大を見据えた基盤整備を進めるなど、収益基盤の強化にも取り組んでおります。しかしながら、第2四半期の売上高の低下を補うには至らず、売上高、営業利益、経常利益および当期純利益につきましては、いずれも前回発表の予想を下回る見込みとなりました。

なお、本予想は現時点で入手可能な情報に基づくものであり、今後の事業環境の変化等により実際の業績は変動する可能性があります。

以 上